

市史編さんだより

2009. 1. 10

〒229-0021

相模原市高根 3-1-19

電話 042-750-8025

FAX 042-750-8039

発行 相模原市総務局総務課市史編さん室

ホームページ: <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>

E-MAIL: shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

姿が見えた 市史『自然編』

～3月刊行予定～

本年度刊行を予定しています『自然編』の形がいよいよ見えてきました。本の体裁は、A4判の大きさを4色カラー刷り、400ページ相当のものとなります。内容は、地形地質分野と動植物分野の2分野で構成されます。



今ではなかなか捕まえないノギリクワガタ

地形地質分野では相模原とはどんなところか、特に地形やそれをつくっている地層はどのように、どんなしくみで形成されてきたのかを解明します。また、相模川をはじめとした河川の歴史や性質、生活に欠かせなかった地下水、そしてこの地域の気候の特徴などを説明していきます。

動植物分野では、4年間をかけて行ったフィールド調査の結果を基本として、旧相模原市域において、どんなところにどんな生き物たちが生存しているのかを説明します。そして、過去の記録報告等を加味して、動植物相の変遷や自然がどのように変ぼうしてきたのかなどを明らかにしようとの試みがされています。

写真や図版を多く使用し、読みものとして、また、見るだけでもたいへん興味深い一冊となるでしょう。楽しみにお待ちください。

今年度の調査もいよいよ終盤 石造物・景観調査

各地の調査チーム訪問2

炎暑の残る昨年9月に始まった各地区の調査も、鉛筆や巻尺を持つ手が凍えるようになり、大詰めを迎えています。早いところでは、調査票の整理が始まった地区もありますが、調査が佳境のところもあるようです。前号の「市史編さんだより」に掲載できなかった地区を訪問してきましたので、紹介します。



当麻山無量光寺の一遍上人像を記録する（麻溝）



古い石造物は少ないけれど（横山）



石造物も多く、3班に分かれて調査（田名）



さあこれからだ 打合せ（陽光台）



変ぼう著しい駅付近の景観調査（橋本）



プロジェクターを使って写真を選択する（大野台）



石造物報告書の整理風景（大沼）

昨年12月17日、大沼地区では、石造物調査の調査票への写真の貼付作業を済ませ、完成した報告書が提出されました。お疲れ様でした。

この報告書は市史編さん室にありますので、これから報告書の作成をされるチームの方、どうぞ参考になさってください。

事業の取り組みを報告 市史編さん審議会(11月29日)



平成20年度第1回の市史編さん審議会が市立博物館小会議室で開かれ、市史編さん事業の取り組み状況や、平成21年3月刊行予定の『自然編』の概略が報告されました。

審議の中では、『自然編』の字体やデザインについての意見が出されたほか、「1冊で地質的な内容と動物・植物の内容が分かるという点がこれまでに無い試みで期待できる。そのあたりをアピールしてよいのではないか。」という意見も出されました。

平成21年度刊行予定『民俗編』 民俗部会報告

12月21日（日）に民俗部会が開催されました。この部会では、平成21年度刊行予定の『民俗編』に掲載する写真について、各執筆者がどんな写真を選択しているか、今後どんな写真が必要か、他の章の写真との兼ね合いはどうかなどが検討されました。

このほか、部会員からは聞き取り調査の内容について報告がされました。

編さん室の動き 11月・12月

11/6日	国立国会図書館文献調査	26日	自然部会（地形地質分野）
15日	自然部会（地形地質分野）	29日	市史編さん審議会開催
19日	社寺事前調査（大島）	12/6日	近現代部会
22日	首都圏形成史研究会に参加	13日	民俗聞き取り調査（新戸）
26日	公民館連絡会議出席	21日	民俗部会

ある日の調査から～（民俗編）

梅宗寺百観音調査

石仏^{さいし}祭祀に関連して、上九沢にある梅宗寺の百番観音堂（写真）の百観音について、観音像一体一体の写真撮影と銘文を記録する調査を行いました。

百番観音堂には、正面に木造の聖^{しょう}観音菩薩^{くわんおんぼさつ}一体が安置され、その両脇とお堂の側面に、西国三十三番、坂東三十三番、秩父三十四番の百体の石造観音が安置されており、この中には、安産の守り本尊として特別に信仰を集めた「白子^{しろこ}観音^{くわんおん}」と称される観音もあります。

全部で百一体もの観音像が1つのお堂に納まっているのは珍しく、とても貴重なものと思われれます。

百番観音堂の壁には、戦前に現在の観音堂を建立した際に、財を寄せた人々の名を記した木札が打ち付けられています。お寺の話では、「その中には他のお寺の檀家の人も見られるので、梅宗寺周辺だけでなく、広く観音信仰がなされていたのではないかとのことでした。



梅宗寺の百番観音堂

「縄文時代遺跡資料調査報告書」 3月刊行

旧相模原市域で行われた考古学調査は、これまでに300件余を数えます。過去の調査の中には、大正15(1926)年に行われた勝坂遺跡の調査のように、日本の考古学史上に大きな意義をもつものがある一方、調査方法や機材が十分でなかったり、成果の報告が不十分のままになっているものもあります。平成23年度刊行予定の考古編は、これまでの発掘調査の成果を積み上げてまとめていきますが、必要と思われるものは資料を整理しなおして、成果を補う作業を行っています。その成果報告の第一報として、平成18年度には旧石器時代の報告書を刊行しました。これは、旧石器時代の遺跡で採集された黒曜石遺物2700点について行った、黒曜石の産地推定結果を中心に報告したものです。



そして今年度は、縄文時代の遺跡・遺物についての整理結果を報告します。収録する内容は、昭和47(1972)年に行われた勝坂遺跡の範囲確認調査、昭和51(1976)年に当麻・上溝で行われた送電線鉄塔敷地の調査です。これらの調査はいずれも報告が不十分であったので、出土した土器・石器について実測図・写真による図化作業と計測を行い、その成果を報告する内容となっています。

好評発売中！「現代資料編」「現代図録編」 販売書店

紀伊国屋書店相模原店（相模大野） ブックスアミ南口店（相模大野） 柴胡書房（文京） ブックス山田（松が枝町） 相模書房本店（相模台） 渡辺書店（相模台） 相模書房女子美術大学店（麻溝台） 久保田書店（千代田） 中村書店淵野辺本町店（淵野辺本町） 中村書店ダイエー店（上溝） 中村書店本店（横山） 三基書房（田名） 中村書店田名店（田名） 中村書店橋本店（西橋本） 有隣堂ミウヰ橋本店（橋本） カクダイ書店（二本松） 山本書店（津久井町中野） 敏正堂（相模湖町与瀬） ふじの書房（藤野町小淵）